


令和 7 年度退職教員の紹介

部局名	大学院理学系研究科・理学部	
氏名	長谷川 修司	
職名	教授	
本学在職期間	平成 2 年 3 月～令和 8 年 3 月	
所属	物理学専攻 物性物理学講座	
専門分野	物性物理学実験、表面物理学	
略歴	<p>昭和 58 年 3 月 本学理学部 卒業</p> <p>昭和 60 年 3 月 本学大学院理学系研究科修士課程 修了</p> <p>昭和 60 年 4 月 (株) 日立製作所基礎研究所研究員</p> <p>平成 2 年 3 月 同社退社</p> <p>平成 2 年 3 月 本学理学部 助手</p> <p>平成 3 年 9 月 博士(理学) 東京大学 取得</p> <p>平成 6 年 4 月 本学大学院理学系研究科 助教授</p> <p>(平成 19 年 4 月より名称変更 准教授)</p> <p>平成 22 年 2 月 本学大学院理学系研究科 教授</p>	
研究内容	<p>S Ichinokura, K Sugawara, A Takayama, T Takahashi, S Hasegawa, “Superconducting calcium-intercalated bilayer graphene”, ACS Nano 10 (2), 2761-2765 (2016).</p> <p>T Hirahara, T Nagao, I Matsuda, G Bihlmayer, EV Chulkov, Y. M. Koroteev, P. M. Echenique, M. Saito, S. Hasegawa, “Role of Spin-Orbit Coupling and Hybridization Effects in the Electronic Structure of Ultrathin Bi Films”, Physical Review Letters 97 (14), 146803 (4p) (2006).</p>	